

輸血に関する当院の基本方針

- 1 寿尚会洛陽病院（以下、当院）では、手術において、輸血に合理性があると判断される場合、輸血を実施します。
- 2 当院では、宗教的理由により輸血を拒否される患者様について、如何なる場合も輸血を実施しないとの「絶対的無輸血治療」は実施出来ません。
但し、可能な限り無輸血治療に努力するが、輸血以外に救命手段がないと判断した場合には輸血を実施するとの「相対的無輸血治療」は可能です。
- 3 患者様やそのご家族が提示される（無輸血治療に伴う）「免責証明書」又は（絶対的無輸血治療に対する）「同意文書」等は受け取りません。
- 4 当院の治療方針に同意して頂けるように努めますが、同意を得られない場合は他院での治療をお勧めいたします。
- 5 緊急の場合は、手術同意書や輸血同意書が得られない場合でも救命のための手術、輸血を実施いたします。

寿尚会 洛陽病院病院長

※相対的無輸血：患者様の意思を尊重して可能な限り無輸血治療に努力するが、「輸血以外に救命手段がない」事態に至った時には輸血を行うという立場・考え方。

※絶対的無輸血：患者様の立場を尊重し、たとえいかなる事態になっても輸血をしないという立場・考え方。